



Radouan Mriziga 『7』 photo: Bruno Simao

セゾン・アーティスト・イン・レジデンス ヴィジティング・フェローによるパブリック・トーク

## ALKANTARA の 25 年の歴史、将来の構想について語る

2018 年 11 月 6 日(火) 19:00-20:30 / 森下スタジオ (東京都江東区森下 3-5-6) / 参加無料

ポルトガルの ALKANTARA FESTIVAL の共同芸術監督として活動するダヴィド・カベシーニャによるパブリック・トーク。ポルトガルの首都、リスボンを拠点にインディペンデントに活動する ALKANTARA の歴史や活動とともに、今後のフェスティバルの方向性やテーマに関するアイデアを紹介します。

■ 申込方法 : Email または電話でお申し込みください。

Email: David2018@saizon.or.jp 電話: 03-5624-5951 (森下スタジオ受付:10:00-21:00)

\* 件名を、「11月6日パブリック・トーク申込み」とし、本文に ①お名前②職業

③参加人数④連絡先⑤このイベントをどのようにお知りになったかをご記入ください。

■ 森下スタジオへのアクセス

地下鉄都営新宿線、都営大江戸線「森下駅」 A6 出口 徒歩 5 分

東京メトロ半蔵門線、都営大江戸線「清澄白河駅」 A2 出口 徒歩 10 分



ダヴィド・カベシーニャ David Cabecinha

Lisbon Theatre and Film School で演劇を専攻し、演技を学ぶ。卒業後、俳優としてポルトガルの劇団の作品に出演する。2013 年、演出家、Jorge Andrade が手掛ける劇団 mala voadora に入団し、俳優として作品に出演するほか、演出助手やドラマトウルク、ツアーマネジメントの経験をする。2016 年から 2017 年、美術や舞台芸術、映画等を総合的に紹介するフェスティバル、Temps d'Images Lisboa のプログラムのキュレーションを行う。2018 年、ALKANTARA の共同芸術監督に就任した。

